

スタンダードクロージャ: 出火防止のために

Standard Closure-for Fire Prevention

ケーブルの外被接続には、長く火を使う鉛工法が使われていた。世田谷火災以後、火を用いない接続方法として開発されていた箱型のSSMクロージャの適用範囲が拡大された。これを汎用型として発展させたものが、今日のスタンダードクロージャである。

